

平成28年度第4回東温市地域公共交通活性化協議会（東温市地域公共交通会議）

次 第

日時：平成29年3月21日（火）

午前10時～

場所：東温市役所4階405会議室

1. 開会

2. あいさつ

3. 協議・報告事項

（1）会長の選出について

（2）平成29年度の取り組み概要（案）について

（3）地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価の二次評価結果について

4. 閉会

<事前送付資料>

【資料1】平成29年度の取り組み概要（案）

【資料2】地域公共交通確保維持改善事業二次評価結果

<当日配布資料>

路線バスで行くぶらり滑川の旅

平成28年度第4回

東温市地域公共交通活性化協議会（東温市地域公共交通会議）出席者名簿

	団体	役職	委員	備考
1	東温市	副市長	大石 秀輝	
2	伊予鉄道株式会社	運輸事業本部長	中尾 均	(代理) 中川 智之
3	東温市タクシー連絡協議会	会長	和田 宏一	
4	愛媛県バス協会	専務理事	関谷 俊夫	(代理) 西川 勲
5	愛媛県ハイヤー・タクシー協会	専務理事	高橋 昭雄	(欠席)
6	国土交通省松山河川国道事務所	計画課長	高井 健一	(代理) 片岡 章
7	愛媛県中予地方局	建設企画課長	木村 圭策	
8	東温市産業建設部	部長	丹生谷 則篤	
9	東温市区長会	会長	伊達 知元	
10	東温市老人クラブ連合会	会長	橋本 政雄	(欠席)
11	東温市婦人会	会長	高須賀 恵美子	
12	東温市PTA連合会	副会長	渡部 ゆかり	
13	東温市社会福祉協議会	会長	藤原 弘	(欠席)
14	市民の代表（公募）		藤本 貞夫	
15	市民の代表（公募）		横手 裕子	
16	松山南警察署	交通課長	玉井 行士	(代理) 壽川 晃
17	伊予鉄道労働組合	副執行委員長	寺田 淳泰	(欠席)
18	四国運輸局愛媛運輸支局	首席運輸企画専門官 (総務・企画担当)	山下 文明	
19	四国運輸局愛媛運輸支局	首席運輸企画専門官 (輸送・監査担当)	谷本 昌啓	
20	愛媛県	中予地方局 地域政策課長	居村 大作	(代理) 大西 明善

平成28年度第4回東温市地域公共交通活性化協議会 議事録

日 時： 平成29年3月21日（火）10:00～10:40

会 場： 東温市役所 405会議室

1. 開会

事務局： これより平成28年度第4回東温市地域公共交通活性化協議会を開会する。
はじめに事務局より委員の皆様にご報告させていただく。当協議会の会長職については、前副市長の退任により現在不在となっている。協議会の規約により、新しい会長の選出までは協議会の副会長である和田委員に会長代理をお願いしたい。よろしくお願ひします。

2. あいさつ

事務局： 開会にあたり和田副会長より挨拶をお願いしたい。

副会長： <挨拶>

3. 協議・報告事項

(1) 会長の選出について

副会長： まず新会長の選出を行いたい。平成29年第1回東温市議会定例会において、大石副市長が選任されている。当協議会の会長についても、大西前会長の後任として、大石副市長に就任していただきたいと考えているが、いかがか？

各委員： <異議なし>

副会長： 委員の皆さんの賛同を得られたことから、大石副市長に新会長に就任していただくこととする。それでは、これからの議事進行は大石新会長にお願いする。

(2) 平成29年度の取り組み概要（案）について

事務局： <説明（資料1）>

会 長： 何か質問等はあるか？

谷 本： 全ての取組に関係することであるが、昨今、高齢者の事故がたくさん報道されている。公共交通のPRをしていく際に、東温市では予約制乗合タクシーや、パーク&ライドの取組もしているの、広報等にこういった移動手段もありますよ、といったことで公共交通の周知にも努めていただきたい。

事務局： 毎月広報には「公共交通ニュース」として、公共交通情報の発信等はしているが、バスの体験教室の報告などが多くなっている。谷本委員がおっしゃられた内容の情報発信もできるようにしていきたい。

会 長： 行事の結果報告も大事であるが、利用促進につながるような内容の掲載もお願いしたい。他に何か質問等はあるか？

大 西： モビリティマネジメントのスケジュールであるが、「市民課の繁忙期を除いて」と書かれてあるが、転入者の多い時期が市民課の繁忙期となるような気がするが、どのようなスケジュールで実施する予定なのか？

事務局： 毎年4月5月の年度初めや、3月の年度末等は転入者が多くなる傾向にある。本来ならばそのような時期に実施できるのが一番効率はいいのだが、市民課の窓口も事務処理が多く

なり大変であるということも考えて、できれば窓口の負担が少なくなるような繁忙期を避けた約6ヶ月で実施するというスケジュールを考えている。冊子の配布等の情報提供は、繁忙期でも継続して実施していきたいと考えている。

会 長： 平成29年度の事業で、新しく取り組む事業などはあるのか？

事務局： 平成28年度に実施をしていなかった取組としては「モビリティマネジメントの推進」が挙げられる。この取組は平成26年度にも実施しているが、取組の効果があったということで、平成29年度にも再度実施することとしている。その他の取組は前年度も実施していたものを引き続いて実施していくものである。また、3月の東温市議会における一般質問で、高齢者ドライバーの運転免許返納に対する助成制度に関する質問があった。その中で、今後東温市としても、助成制度を実施している自治体を参考にしながら、検討していく必要があると考えている。加えて12月の一般質問であった、市内循環型バスのことも引き続き検討していく必要があると考えている。

会 長： 先ほどの事務局の説明のとおり、市議会の一般質問で、高齢者の免許返納に関する質問が何人かの議員の方からあった。他市町で取組をしているところもあるということなので、事務局の方で研究をし、東温市に見合った形の制度構築に向けて取り組んでいただきたいと思います。

藤 本： 市内循環型バスについてはどのように考えているのか？

事務局： 先ほど申し上げた通り、12月の定例会で一般質問も出ており、今後は市街地の交通弱者の方への対応をどのように考えていくのかが重要になっていくと思われる。

藤 本： 高速バスから路線バスへの繋ぎについては何か考えているか？具体的には、さくらの湯まで行っている路線バスを、高速バスのインターチェンジのあたりから乗れるようにバス停を設置したり、案内板を設置したりして、わかりやすくしたりすることは何か検討しているか？

事務局： 案内板設置などのハード面での整備の予定はまだないが、現在印刷中の「公共交通ガイド」の中には、川内インターチェンジから、最寄りのバス停である「川上学校前」までのルート案内を、写真を使ってわかりやすく掲載している。さくらの湯のルートに関しては、交通事業者との協議が必要となったり、公共交通の予算上の問題もあるので、少しずつだが検討をしていきたい。なお、実際に事業者と協議した際の結果等については、改めて本協議会でも随時協議をさせていただきたい。

横 手： 「公共交通ガイド」は、高速バスのバス停にも置く予定か？せっかく作ったのだから、ぜひ置いた方がいいと思う。

事務局： 高速バスのバス停は、ネクスコの所管であるので、ネクスコと協議をし、置かせていただけるような許可が出れば、ぜひ置かせていただきたいと思います。

会 長： 他に何か質問等はあるか？なければ、事務局は委員の方々の意見も聞きながら事業に取り組んでいただきたいと思います。以上で平成29年度の取り組み概要（案）についての説明を終わる。

(3) 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価の二次評価結果について

事務局： <説明（資料2）>

会 長： 何か質問等はあるか？

- 藤 本： 資料2の2ページ目であるが、事業概要は、過疎地域における路線バスの維持ということになると思うが、公共交通便利帳の配布をしたことによって、河之内地区の人が路線バスを利用するようになったのかという評価もしないと、冊子を作ったことによる利用者数の増加という結びつきが出来ないような気がする。公共交通便利帳というのは、あくまでも転入者に対する広報というとらえ方でよいか？
- 事務局： 今年度作成した新しい「公共交通ガイド」は市外の方にもわかりやすい内容の冊子ということで作成したが、今まで配布していた「公共交通便利帳」は市内の方向けの冊子となっていた。
- 藤 本： 「公共交通便利帳」は白猪滝口あたりの住民にも配布はしているのか？また、その結果路線バスの利用者が増えたという結果はあるのか？
- 事務局： 「公共交通便利帳」を配布した結果、利用者数が増えたという集計はできていないが、便利帳を作成した際に、全戸配布は行っている。
- 藤 本： 運輸局の二次評価結果のところで、「公共交通便利帳」の配布が評価されているが、実際に乗降者数に影響を与えているのかどうか、公共交通が維持されることに繋がっているのかどうかということが疑問に感じるところである。
- 事務局： 平成28年度第3回の協議会において自己評価を行っている。その時に、目標として掲げている「1便当たりの平均利用者数3人以上」を達成できていたことからA評価を付けている。それに対する運輸局の二次評価の結果というのが今回の資料となっている。
- 藤 本： 資料の⑥に「転入者に対する周知にも努めたい」という記載があるが、新しく転入する方への周知は、山間バス路線の利用者数の増加に関係してくるのか？転入者は山間バス路線というよりは、市街地に向かうバスの方が需要はあると思うのだが。
- 事務局： 「転入者に対する周知にも」ということで記載をしているので、既存の利用者に対する周知を行ったり、乗降調査も行ったりするが、それに加えて新しい転入者にも周知をしていくようにしたいという内容である。
- 会 長： 他に何か質問等はあるか？なければ地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価の二次評価結果についての説明を終わる。

4. その他

- 会 長： 本日の議題の他に、何か意見や質問等はあるか？なければ、当日配布資料としてお配りした「路線バスで行くぶらり滑川の旅」についての説明をお願いしたい。
- 事務局： 本日まで出席の、横手委員が代表を務めてらっしゃる「みんなの公共交通を考える会」の皆さんが作成された「路線バスで行くぶらり滑川の旅」を当日配布資料としてお配りしている。この冊子について、横手委員に説明をお願いしたい。
- 横 手： 「みんなの公共交通を考える会」は平成18年から活動している団体で、公共交通に合わせた地域の活性化や、高齢者のお出かけ支援などを目的に活動している。平成27年から路線バスを使った「路線バスで東温ぶらり発見」というツアーを実施しており、このツアーには市外からも応募があり、東温市の人気を再認識しているところである。そのツアーの中で滑川地区について詳しく取材することが出来たので、今回冊子として紹介することとした。1000部ほど印刷しているので、市内各所の機関で配布し、皆さんに手に取っていただきたいと思う。この冊子を見て、路線バスに乗るきっかけになればいいと思う。

- 事務局： 「みんなの公共交通を考える会」については、新聞でその活動が取り上げられたりと積極的に活動されている。今後本協議会においても「みんなの公共交通を考える会」の活動や取組に関して発表していただく機会も設けたいと思うので、そのときはよろしくお願ひしたい。
- 会 長： 他に何か意見や質問等はあるか？なければ、本日予定していた協議、報告事項をすべて終わったので、事務局に進行をお返しする。

5. 閉会

- 進 行： 以上で平成28年度第4回東温市地域公共交通活性化協議会を閉会する。